

取扱説明書 Ver 1.00

TP-656-IV

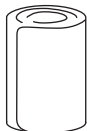
65周年記念 ランドベース 6 Pro. アイボリー



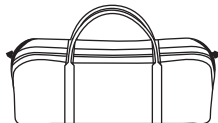
この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品はキャンプ用シェルターです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

セット内容

セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。基本的な設営にはメインポール×2本、サブポール×4本、ロープ用のペグ×26本が別途必要です。上記推奨サイズをご参考のうえ、ご用意ください。また、ペグやロープ自在は消耗品です。常に予備を携行することをお勧めします。



本体×1



キャリーバッグ×1



ポール
ケース×1



インナールーフ



ペグ
ケース×1



自在付ロープ
(二又10m×2、3.5m×4、
二又7m×4)



取扱説明書(本書)×1

⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- このシェルターの素材は難燃性ではありません。シェルター内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などのおそれがあり大変危険です。
- シェルター内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。

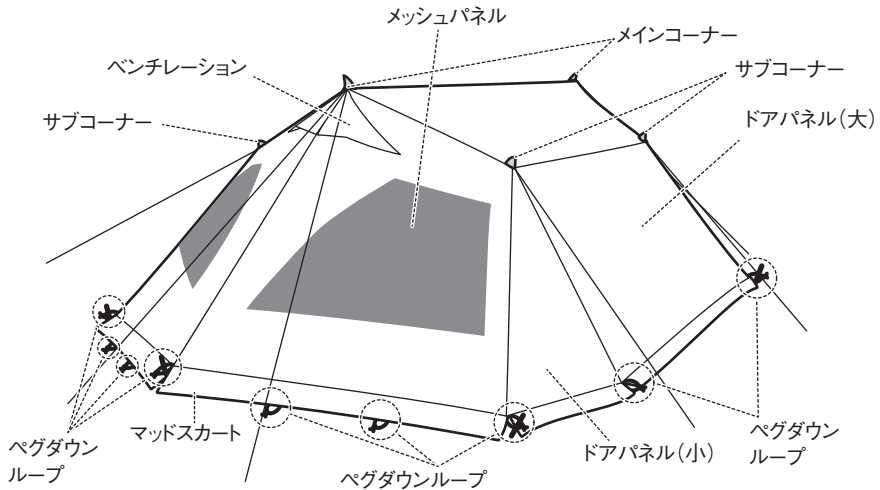
⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- シェルターの中に高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候により、シェルター内は高温になり、熱中症などの危険があります。お客様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。

⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

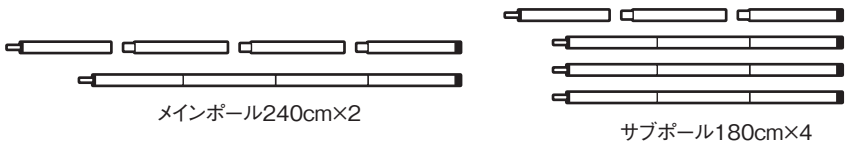
- 本製品は常設用ではありません。シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起きますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりシェルターの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- 樹液が付着するときに除去することができません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。シンナーやベンジン等の有機溶剤により無理に除去しようとすると生地やコーティングを痛めてしまいますのでおやめください。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう生地とフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のハネ返り等で思わぬ事故に繋がるおそれがありますので、必ず周囲の安全を確認して作業してください。
- ベグとロープでしっかりとシェルターを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- 足もとのロープやベグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- 本製品は非自立型のシェルターです。ロープを正しく張ることにより風や雨に耐える強度を得ることができます。ご使用の際は取扱説明書(本書)に従い必ずすべてのロープを張ってください。
- インナールーム内には小物を吊るすループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

各部の名称



初めてお使いになる前に

- 品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合や付属品の欠品があった場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスマスまでお問い合わせください。
- 本製品にはロープ用のベグ・ハンマー等は含まれておりません。
- 基本的な設営には別売りの 240cm ウイングポール ×2 本、180cm ウイングポール ×4 本、ベグ ×26 本が別途必要です。
下記の推奨サイズをご参考の上、ご用意ください。
- 推奨ポール・ベグサイズ
240cm ウイングポール ×2 本
180cm ウイングポール ×4 本
打ち込み長さ 25cm 以上のベグ ×22 本 (各コーナーのロープに使用)
打ち込み長さ 35cm 以上のベグ ×4 本 (メインコーナーの二又用ロープに使用)



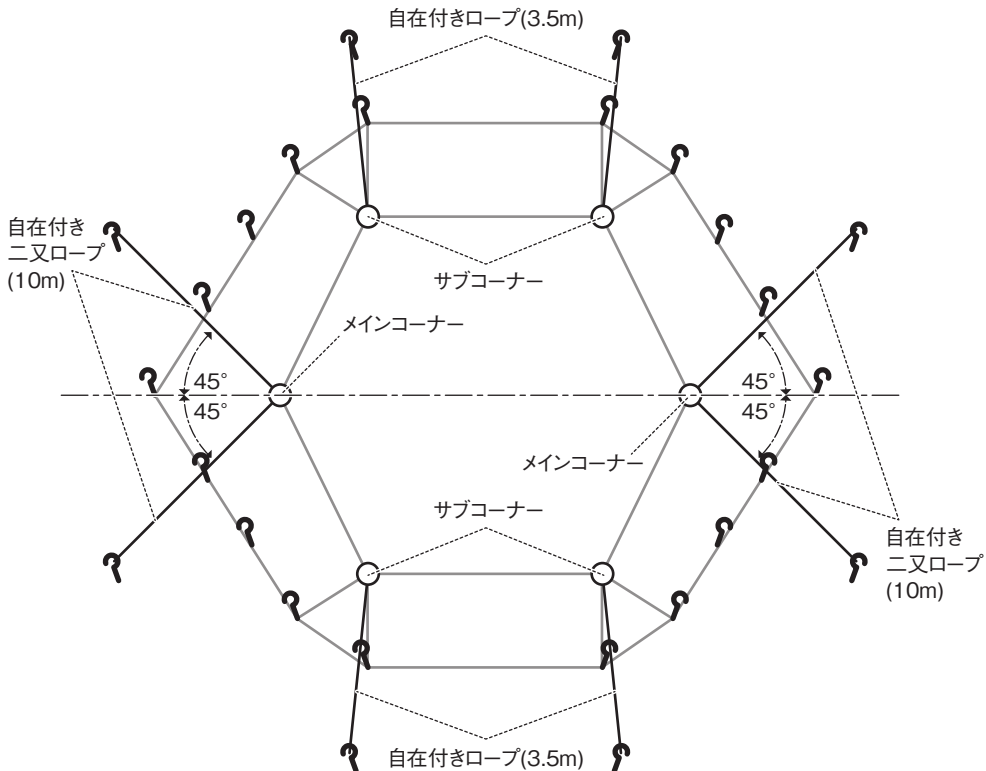
- ドアパネルを跳ね上げる場合は、180cm ウイングポールを使用してください。ウイングポールをドアパネルの端にあるグロメットに差し込み自在付きロープ (二又 7m) をベグダウンし固定してください。

使用前の準備

縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、本体のベンチレーション部やファスナー部の一部は製造の都合上、または構造上、シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨、地面に雨水が溜まっているような状態では、縫い目から雨水が侵入することがありますので別途シームシーリング剤をお買い求めの上、必要に応じて縫い目にシームシーリング剤 (目止め液) を塗布してください。シームシーリング剤は縫い目に沿って表裏の両面からうすく塗布し、よく乾燥させてください。シームシーリング剤は時間とともに硬化します。剥離したときは塗布しなおしてください。雨水が侵入した場合も必要に応じて目止めを行ってください。

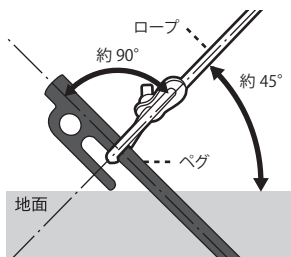
自在付ロープ・ペグダウンの位置

ロープの固定、ペグダウンは下図のように行ってください。



設置したとき、ロープの角度が地面に対し約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。

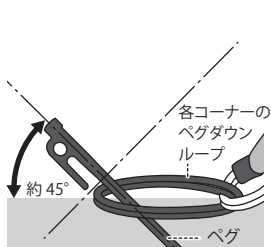
ペグダウンの方向



[ロープへのペグダウン]

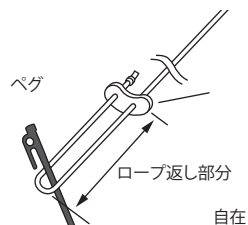
設置したとき、ロープの角度が地面に対して約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。

二又ロープの取り付け方



[ペグダウンループへのペグダウン]

ペグを打ち込む角度は地面に対し約45°になるようにペグダウンしてください。

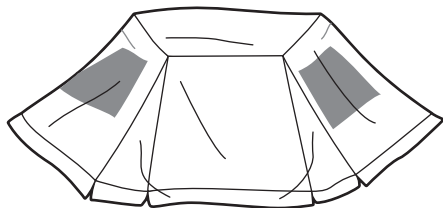


ロープの自在が付いている返し部分がペグ側にくるように取付けてください。

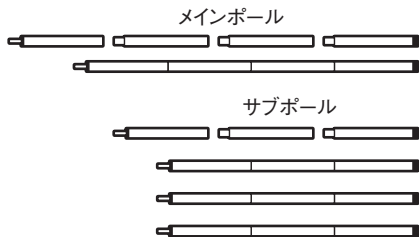
設営の手順 より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。また、付属品が全て揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・撤収は本体やポールの破損や事故の原因になります。本書をよくお読みになりご使用ください。

- ① **本体を半分折の状態を広げてください。**
風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。
※設営前にすべてのファスナーを閉めた状態であることを確認してください。

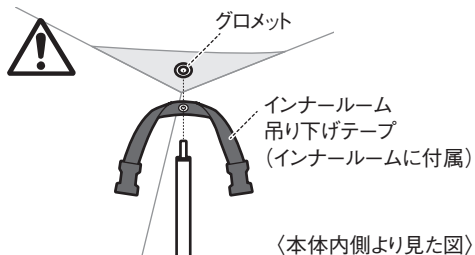


- ② **ポールを準備してください。**
メインポール240cm×2本、サブポール180cm×4本を用意用意してください。

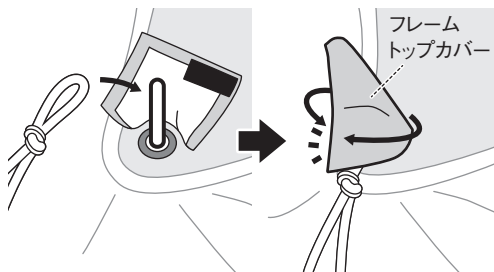


⚠ インナールームを使用する場合

内側からメインコーナーまたはサブコーナーにあるグロメット部にインナールーム用の吊り下げテープを同時に通してください。インナールームを使用する場合、この時点で本体内側からインナールーム用の吊り下げテープを通してください。詳しくはインナールームの取扱説明書をご覧ください。

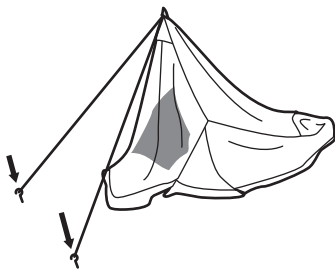


- ③ **メインコーナーにポールを差し込み、ロープを掛けてください。**
本体のメインコーナーにメインポール先端を差し込み、自在付二又ロープ(10m)を掛けた後、フレームトップカバーを巻き留めてください。



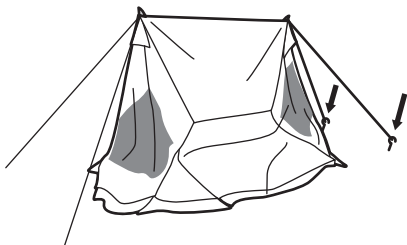
④ メインポールを立て、ロープをペグダウンしてください。

※この作業は必ず2人以上で行ってください。
1人がメインポールを立てて、もう1人がペグダウンします。
ペグダウンの位置は4ページの「自在付ロープ・ペグダウンの位置」に従ってください。



⑤ 反対側のメインコーナーもロープを掛け、ペグダウンしてください。

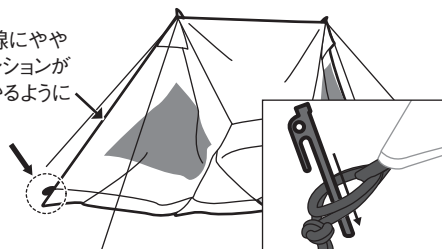
反対側のメインコーナーも③同様の手順でロープを掛け、ペグダウンしてください。



⑥ メインコーナーのボトム部分をペグダウンしてください。

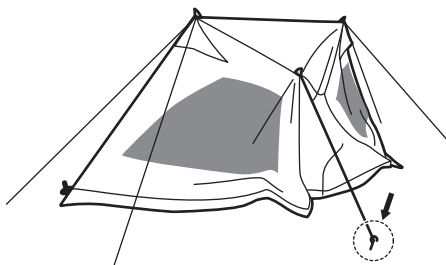
メインコーナー下のボトム部分にある、ペグダウンループをペグダウンしてください。続いて対角側のボトム部分もペグダウンしてください。

稜線にややテンションがかかるように

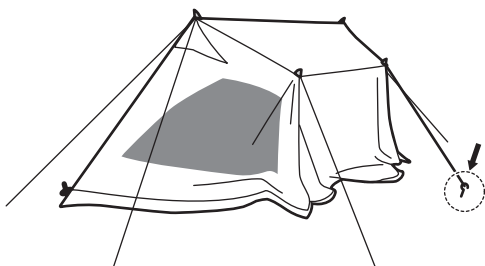


⑦ サブコーナーを立ち上げ、ペグダウンしてください。

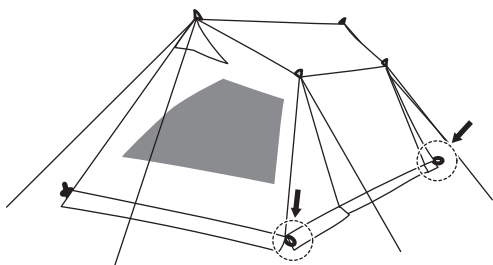
※この作業は必ず2人以上で行ってください。
③と同様に、サブコーナーにサブポール、自在付きロープ(3.5m)を掛けてください。
1人がサブポールを立てておさえ、もう1人がペグダウンします。ペグダウンの位置は4ページの「自在付ロープ・ペグダウンの位置」に従ってください。



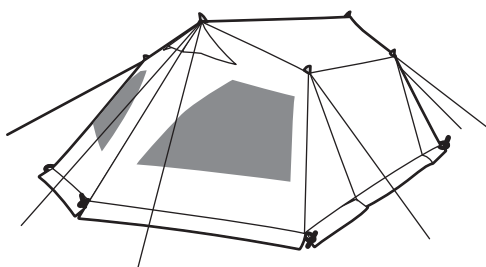
- ⑧ もう一方のサブコーナーも立ち上げてください。
もう一方のサブコーナーも⑦と同様に設置してください。



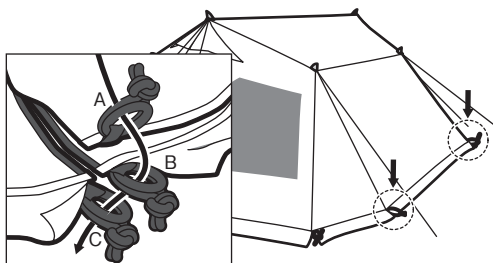
- ⑨ サブコーナーのボトム部分をペグダウンしてください。
サブコーナー下のボトム部分にある、ペグダウンループをペグダウンしてください。同じく反対側のボトム部分もペグダウンしてください。



- ⑩ メインコーナーの向こう側もサブコーナーを立ち上げてください。
メインコーナーの向こう側にあるサブコーナーも⑦⑧に従って立ち上げ、⑨同様ペグダウンしてください。

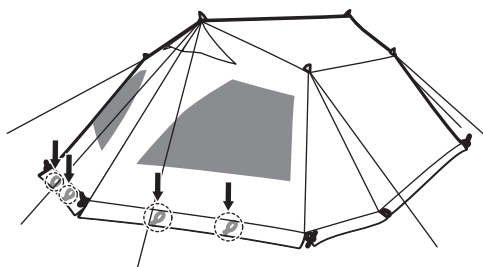


- ⑪ ドアパネルのボトム部分をペグダウンしてください。
ドアパネルのボトム部分にあるペグダウンループをペグダウンしてください。(4カ所)
その際、上から(A)ドアパネル(大)、(B)メッシュパネル、(C)ドアパネル(小)の順でペグを通してください。

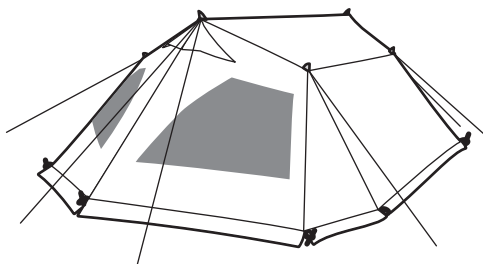


12 メッシュパネルのボトム部分をベグダウンしてください。

メッシュパネルのボトム部分にあるベグダウンループをベグダウンしてください。(8カ所)
マッドスカートに隠れていますので、めくってベグダウンしてください。
※ベグダウン時にハンマーでスカート部を傷つけないように注意してください。



13 全ての部分のベグダウンが完了したら、各ロープにたるみがないか確認して完成です。



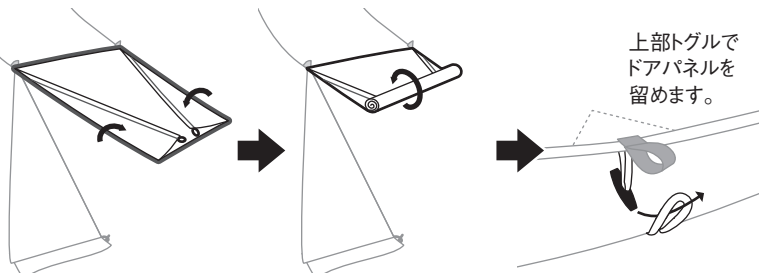
※ロープの引き過ぎにご注意ください。強く引きすぎている場合はその方向に大きなしわが発生します。しわの出ている方向のロープを緩めて、全体のテンションバランスを調整してください。

※本体が緩んだ状態やしわの入った状態で使用すると、風を大きく受けて倒れたり、雨が流れず溜まってしまうなど、大変危険です。

出入口の作り方

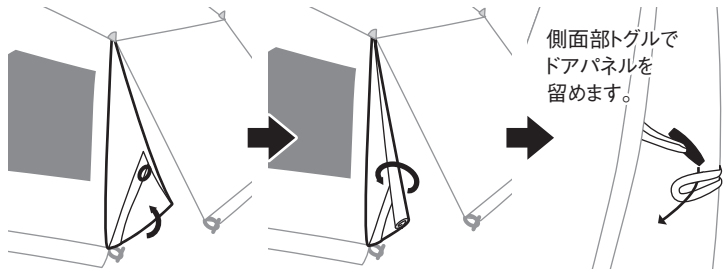
ドアパネル(大)のたたみ方

ドアパネル(大)の下部を内側に畳んでから、巻き上げると綺麗に収納できます。



ドアパネル(小)のたたみ方

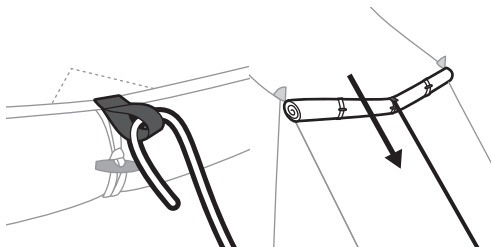
ドアパネル(小)の下部を内側に畳んでから、巻き上げると綺麗に収納できます。



その他の使用方法

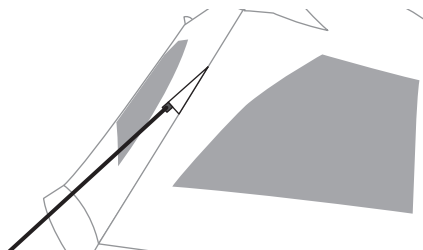
雨水溜まり対策

ドアパネル(大)の上部中央にあるループにロープを通してください。そのロープをベグダウンし、屋根部を下げる事で、本体に雨水が溜まるのを軽減します。



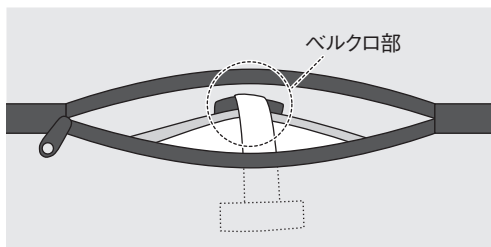
風対策

本体側部にあるループにロープを通し、ベグダウンしてください。風がある時のパネルのバタつきを抑制することができます。



ベンチレーションの開閉

本体内側のジッパーを開け、ベンチレーションを支持している部分のベルク口を外すとベンチレーションが開閉し、取付けるとベンチレーションが開きます。



インナールーフの取り付け方法

インナールーフは遮光性を高めるための製品です。また本製品は難燃性のある生地を使用していません。シェルター内では燃烧式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などのおそれがあり大変危険です。

① メインポールにインナールーフのバックル付テープを接続してください。

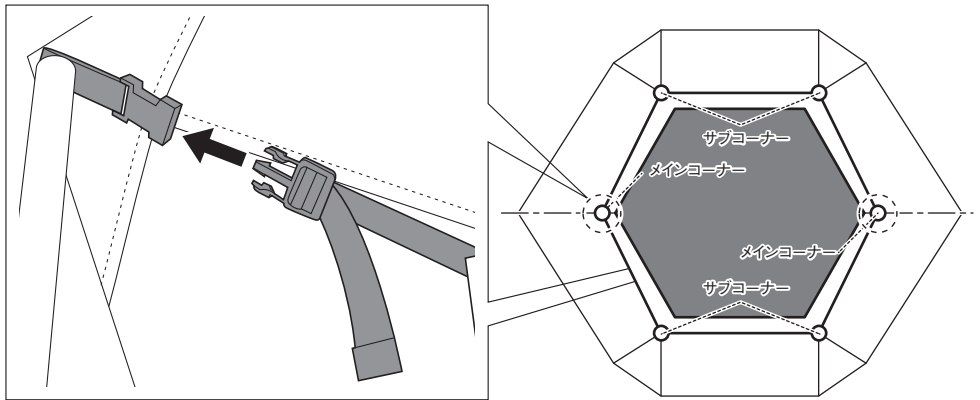
1. ランドベース本体のバックルに手が届くように一度ウイングポールを倒し、インナールーフの接続バックルをメインコーナーの内側に接続してください。接続バックルはベルトの端部が見える側が下になる向きで接続してください。(2カ所)

2. 接続した後、ウイングポールを立て直し、インナールーフの調整ベルトでテンションを調整してください。

※ウイングポールは一本ずつ倒して作業してください。ウイングポールの下端の位置にベグなどを刺しておくと、立て直す際の目印になります。

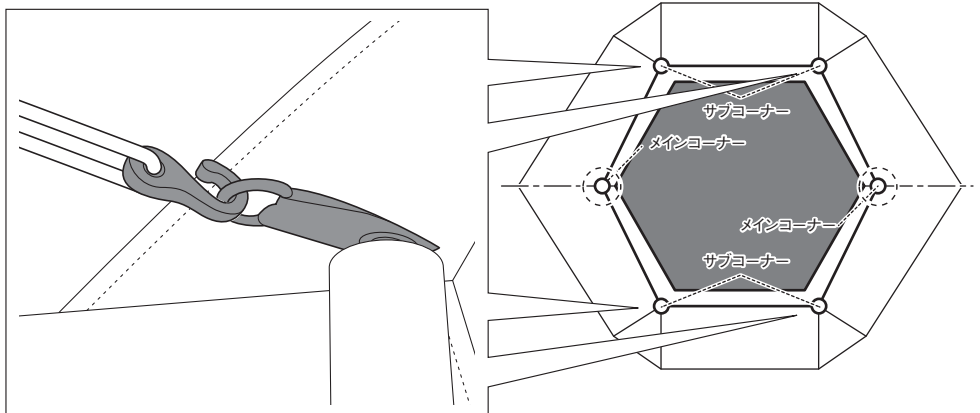
※接続バックルが付いているベルトがねじれないように注意してください。

※インナールーフの緩みすぎ、張りすぎにはご注意ください。張りすぎの場合、ランドベース本体の稜線が緩みシワが発生します。



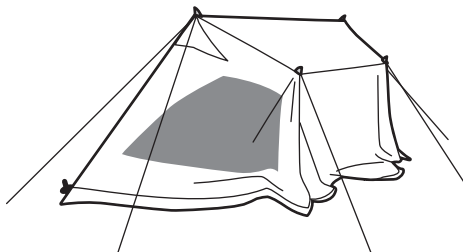
② インナールーフの各コーナーを接続します。

インナールーフの角にあるコーナーのフックをランドベース本体の各サブコーナーにあるリングに引っ掛けてください。(4カ所)

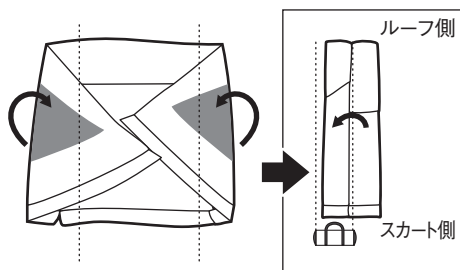


撤収の手順 必ず2人以上で撤収してください。

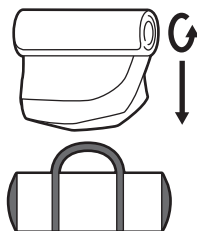
- ① 撤収は基本的に設営と逆の手順で行ってください。
※インナールームを取付けた場合はポールを取り外す際にインナー吊り下げテープを紛失しないように注意してください。



- ② 本体は、キャリーバッグのサイズに合わせて折り畳んでいくと、綺麗に収納できます。
※濡れたままの保管は生地劣化やカビ発生の原因になります。12ページの「メンテナンス・保管」に従い適切に保管してください。



- ③ 折り畳みはルーフ側から空気を抜くように畳んでいくとスムーズに作業ができます。



撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- インナールームを取り付けた場合や、別のテント/タープ等を併用していた場合は、必ずインナールームや併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルターの中に何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- ペグはすべて抜き、汚れを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。ポールはすべてポールケースに収納してください。むき出しの状態での収納すると、本体生地やキャリーバッグ等を傷付けることがあります。

結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルター等の限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気を行ってください。

撥水・防水性能について

- 本体の生地には撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

紫外線の影響について

- 本体の生地にはUVカット加工を施しています。
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、製品および内容物をよく点検してください。不明な点がありましたら弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。
- 本製品はポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができませんのでご注意ください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合、生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次回のキャンプに備え、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期しますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不測の事故による商品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやさびによる故障
7. 分解したことによる不具合の発生または破損
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

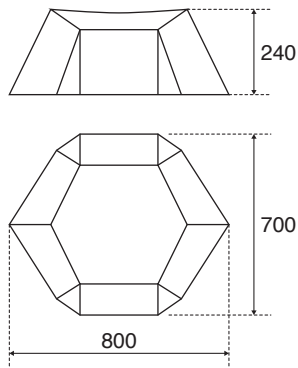
修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 1. 保証対象の場合: 往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 2. 非保証対象以外の場合: 往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

- セット内容:本体、インナーラーフ、自在付ロープ (二又 10m×2、二又 7m×4、3.5m×4)、キャリーバッグ、ポールケース、ペグケース
- 材質:本体ラーフ部 / 210D ポリエステルリップストップ・PU コーティング耐水圧 1,800mm ミニマム・撥水加工・UV カット加工
本体ウォール部 / 210D ポリエステルリップストップ・PU コーティング耐水圧 1,800mm ミニマム・撥水加工・UV カット加工
インナーラーフ / 68D ポリエステルタフタ・PU コーティング耐水圧 800mm ミニマム
- キャリーバッグサイズ: 78×32×36(h)cm
- 重量: 15.4kg

単位はcm



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピーク  **0120-010-660** (9:00~17:00)
ユーザーサービス Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA